

2018年2月12日(月)晴

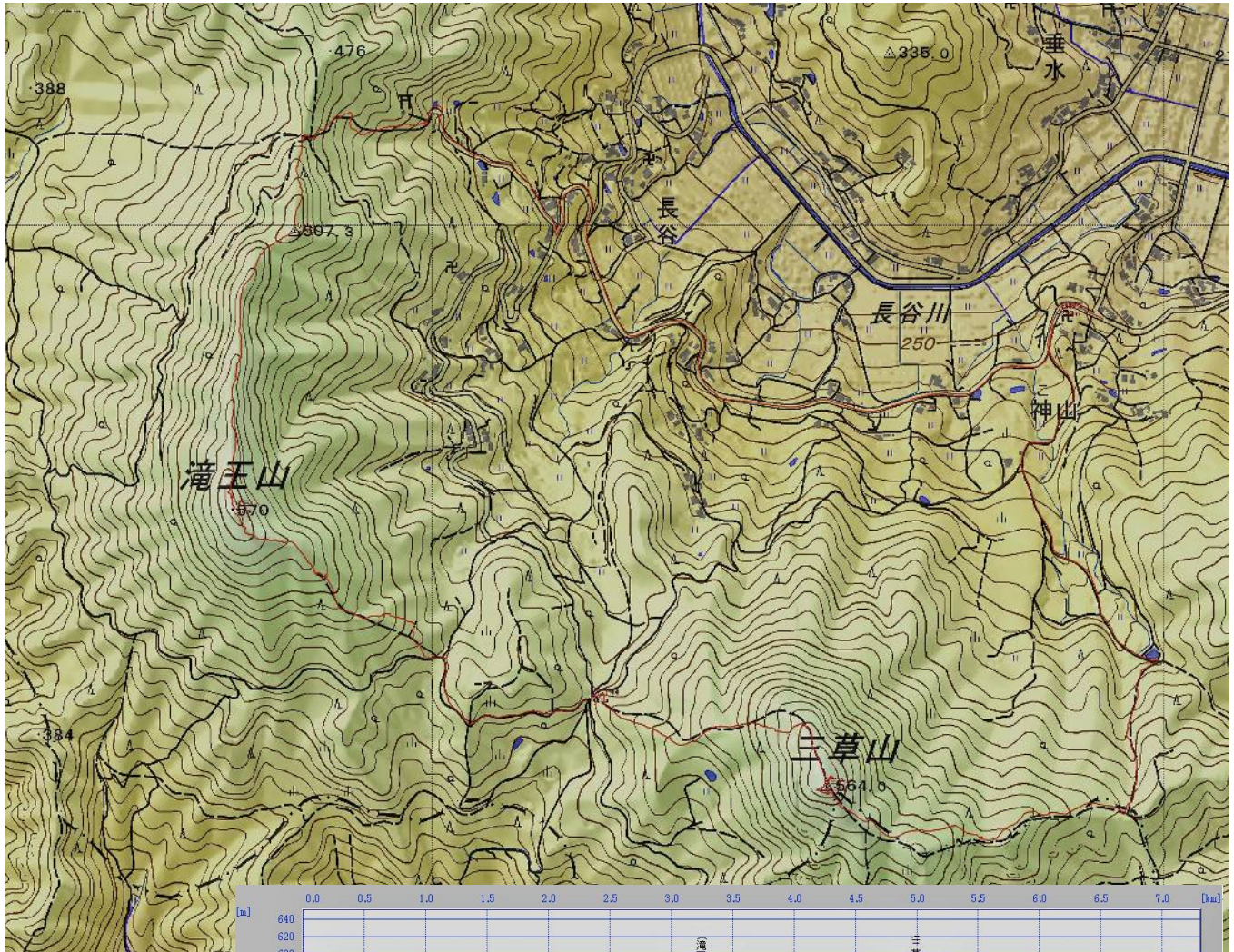
北摂「滝王山・三草山」

単独行

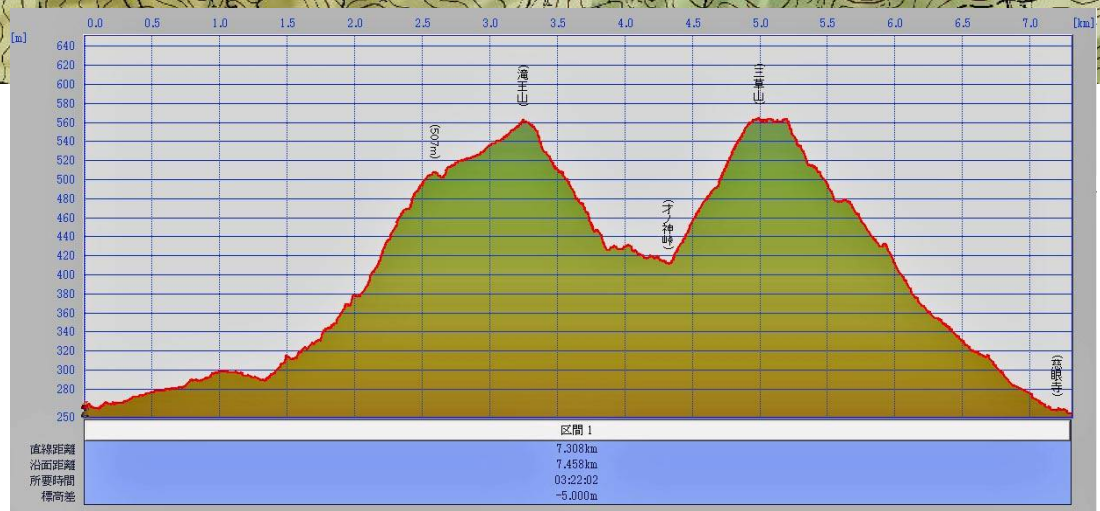
コース距離： 7.5 km、 所要時間： 3時間24分(休憩含む)

コースタイム： 慈眼寺(10:24)→(10:59)妙見神社前→(11:13)滝王山取り付き→
(11:21)△507.3m長谷→(11:40)滝王山→(12:12)オノ神峠→
(12:36)三草山【食事休憩】(13:09)→(13:26)ゼフィルスの森分岐→
(13:34)ため池→(13:48)慈眼寺

*山行軌跡



*行程グラフ



山行記： 先日に行った「三蔵山・今井岳」から見えた三草山を調べると近辺の地図を観ると能勢の棚田が有る所と判明し気になったので行く事に。

Googleマップで車を止められる場所を特定し慈眼寺付近に車を置くことを確認して自宅を8時30分頃出掛けて一般道で距離優先でカーブの多い道を通り10時15分頃に慈眼寺に着き登山準備をする。

10時24分慈眼寺の通りを西に進んで棚田を観ながら妙見神社の前を通り過ぎ鞍部より滝王山に取り付く、地図を確認すると近くに三角点があり其処を通って行く。

踏まれた道に沿って歩いて行くと四等三角点の標識も置かれている507.3m地点を通過して進んで行くと大きな岩が転がっている進んで行くとその先に背の高い岩が現れる。

その岩に滝王山の標識があり岩の上側に小さな祠が置かれていた、岩から10m先が一番標高が高いが何も標識はなかった。

滝王山山頂までは、はっきりとした踏み跡が在ったが三草山へは微かにある程度の踏み跡で尾根筋を下って行き鞍部を越えるとはっきりとした道が現れオノ神峠に着く、幾つもの道の交わる峠の案内板が据えられている。

三草山には峠から東に延びる山道があり登って行く、木の階段の急登を登って行く右側は杉が植林され左は自然林の中に行く。

山頂には子連れの登山者が休んで居られた、三草山の広い山頂は南側から西側が大きく開けている、今日は薄雲りで強風が吹いて眺望は最高とは言えない

先客は帰られ風を避けられる場所を探し食事休憩を摂る、食事後山頂から先に延びる道が続いている所を下って行く、前日の雨か水はけが悪く滑りやすい道だ。

ゼフィルスの森に沿ってフェンスが張ってある、森への分岐を左に進み長谷への登山口を目指すため池がありここが登山口になる、此処から農道を歩き慈眼寺に帰り着く。



慈眼寺近くに駐車する



長谷の棚田風景（北西方向）



長谷の棚田風景（東方向）



妙見神社



妙見神社奥の鞍部右側でなく左の尾根を登る P507.3四等三角点(点名 長谷)



滝王山の手前



滝王山山頂の岩



滝王山の最高点



オノ神峠



オノ神峠 前方が三草山登山道



三草山の登山道



三草山の山頂広場



三草山の三角点



三草山からのパノラマ



三草山から南西方向 (左奥が三蔵山・今井岳)



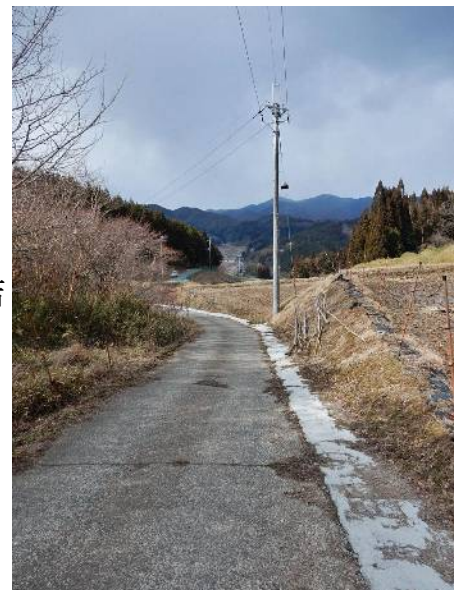
三草山から西北西方向 (奥 松尾山)



ゼフィルスの森横を歩いて下る



ため池は全面凍結



下山の農道